

平成29年6月27日（火）
北國新聞朝刊 第4面

地価動向D Iが上昇

石川県宅建協、鑑定士協が調査

石川県宅建物取引業協会と県不動産鑑定士協会が26日発表した「地価動向と不動産取引の動向に関するアンケート調査結果」（4月1日時点）によると、地価動向D I（指数）は住宅地、商業地とも、前回調査（昨年10月1日時点）から上昇した。

地価動向D Iは「上昇傾向」とした回答比率と「下落傾向」とした比率の差で、今回は住宅地がプラス19・2、商業地が同37・8となった。前回調査時は住宅地が同5・5、商業地が同21・5だった。予測値はプラス幅が縮小している。

不動産市場の動向については「土地・新築戸建」が前回のプラス6・3から同4・8に落ち着き、中古マンションがマイナス11・4から同18・4となった。

調査は県宅建協会の281事業者が回答し、県不動産鑑定士協会が集計した。